

No.21 笑顔と安心。明日への希望をお届けする

ここにこ通信 H24.4.1 発行



配布場所：JR大森駅（火曜日）
JR大井町駅（木曜日・金曜日）
発行者：品川区議会議員 こんの孝子

※議会の都合などにより、予定通り配布できない場合があります。ご容赦下さい。郵送ご希望の方は、お気軽にお声をおかけ下さい！
連絡先 TEL03(5742)6817/FAX03(3774)3366
Eメール t.konno@shinagawa-komei.org

<下部に給食用食材の放射線量測定値を掲載しています>

品川区 大気中の放射線量

	品川保健センター (北品川 3-11-22)	荏原保健センター (荏原 2-9-6)
3月19日	0.067	0.055
3月12日	0.068	0.054
3月5日	0.077	0.063

単位：μSv/h (マイクロシーベルト毎時)
この測定値は、1年間その場所に居続けた場合として換算すると品川保健センターでは0.587ミリシーベルトとなり、荏原保健センターでは0.482ミリシーベルトとなります。これは国際放射線防護委員会の勧告「平常時は年間1ミリシーベルト (=1000マイクロシーベルト)」より低い数値となります。
(品川区HPより)

**高い発生確率
首都直下地震に万全の備えを**

首都圏を含む南関東で起きる大地震「首都直下地震」の発生が切迫しているといわれています。正しい知識と情報を身につけて、防災・減災のために万全の備えをお願いします。

Q. 本当に起きる？

A. 算出方法によって確率が違っているが、いずれも高い確率。いずれくるものと捉え、万全の備えを。

【首都直下地震の発生確率】

- 4年以内に50% (東京大学地震研究所発表)
- 5年以内に28% (京都大学防災研究所発表)
- 30年以内に70% (政府地震調査研究推進本部発表)

Q. 防災対策は？

A. 死者半減をめざし、公共施設の耐震化や建物の不燃化、自主防災組織の充実などが急がれる。(公明新聞 2012.2.19)

品川区では、不燃化に向けたプロジェクトや耐震化のための助成などが行われています。また、区独自の耐震補強技術「品川シェルター」の設置も利用しやすくなっています。

(問) 防災まちづくり事業部防災課耐震化促進担当 ☎5742-6634

緊急速報メールの配信を拡大します

品川区では、平成23年10月から区が配信元になり、NTTドコモが提供する緊急速報メール「エリアメール」を活用して、災害情報を品川区のエリア内にいる方の携帯電話へ一斉配信していますが、3月からKDDIとソフトバンクについても、緊急速報メールの配信を開始します。

○緊急速報メールの特徴

- ① メールアドレスなどの事前登録が不要で、通信料・月額使用料は無料です。
- ② 緊急速報メール対応機種で、配信エリア内(品川区内)にいる方が受信できます。品川区のエリアに緊急情報を配信するため、区民だけでなく、在勤・在学者や区内通過者の方も受信できます。
- ③ 受信時には専用着信音と自動表示で、素早く情報を得られます。
- ④ 回線混雑の影響を受けずに、一斉配信されるシステムです。

○配信内容

河川氾濫の恐れがある場合など、災害時の避難準備情報、避難勧告、避難指示を配信します。
※お使いの携帯電話が緊急速報メールに対応しているかは、各携帯電話会社にご確認ください。

(問) 広報広聴課 ☎5742-6631

品川区プレミアム商品券発売!

品川区では、4月16日より商店街振興と景気対策を図る為、10%のプレミアムがついた区内共通商品券を商店街連合会と連携して販売します!

販売開始日：平成24年4月16日(月)
※売り切れ次第終了
使用期限：平成24年8月31日(金)
販売額：3億円(3万冊) ※額面総額3億3千万円分
販売単価：1冊、10,000円



※500円券22枚綴り、11,000円分
※一人5冊(5万円)まで購入可能
購入できる方：区内在住、在勤を問わずどなたでも、購入できます

販売場所：区内42郵便局、区内商店街、品川区商店街連合会事務局
商品券を利用できるお店など詳細は、品川区商店街連合会ホームページをご覧ください
<http://shoren.shinagawa.or.jp/> TEL 5498-5931

**この数字な〜んだ?
品川データクイズ!**

「2,401人」

ピッカピカの…。楽しく安全に過ごせるよう地域の大人たちが見守ってあげることが大事ですね!

[前号の答え]「まもるっち」は、小学生を危険から守るGPS搭載の防犯7ザーのことです。平成17年以来、品川区オリジナルの端末を開発し、先進的な情報システムと地域コミュニティ(約13,000人の協力員)を結合して、児童の安全を守ってきました。近年では携帯電話各社から「まもるっち」と同等の機能をもった見守りケータイが発売されています。4月1日よりKDDI社製の市販製品を「まもるっち」に改良して使用することになり経費削減と一層の近隣セキュリティシステム充実につながります。

給食用食材の放射性物質検査結果

【測定項目】ヨウ素131、セシウム134、セシウム137

3月12日：大井倉田保育園

●米(富山県)、牛乳(北海道)、長ネギ(埼玉県)、人参(千葉県)、じゃがいも(北海道) = 検出せず

3月5日：日野学園

●はい芽米(山形県)、豚ひき肉(群馬県)、キャベツ(愛知県)、人参(千葉県)、たまねぎ(北海道) = 検出せず



給食用食材の放射性物質検査

個体検査から給食1食分の検査に変更へ

安全で安心な給食を提供するため、平成24年度より給食1食分(調理済みの主食・主菜、副菜、汁等の全食材)の放射性物質検査を実施します。検査結果は区のホームページで公表されます。また、この紙面でもお知らせします。